

## 財政収支(1-12月)

(1) 1-12月の歳入は前年同期比86.1%増、税収は同91.2%増。歳出は前年同期比123.8%増。  
 (2) 結果として1-12月の財政収支は13,749.68億リラの赤字(前年同期比863.8%増)、プライマリーバランスは7,003.53億リラの赤字(同516.3%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-12月(A)	2023年1-12月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	28,000.88	52,104.88	86.1%
税収	23,534.38	45,008.66	91.2%
所得税	3,564.64	6,940.14	94.7%
法人税	5,074.54	7,863.14	55.0%
付加価値税(国内及び輸入)	7,541.08	14,549.76	92.9%
特別消費税	4,197.91	9,281.95	121.1%
その他税収	3,156.21	6,373.67	101.9%
税外収入等	44.67	70.96	58.9%
歳出(b)	29,427.48	65,854.56	123.8%
人件費	6,152.96	13,245.30	115.3%
物品及びサービスの購入	2,576.60	4,528.55	75.8%
経常移転	11,263.63	23,736.41	110.7%
資本支出	2,768.96	5,429.97	96.1%
支払利子(c)	3,109.03	6,746.15	117.0%
その他歳出	3,556.30	12,168.18	242.2%
財政収支(a-b)	▲ 1,426.60	▲ 13,749.68	▲ 863.8%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,682.43	▲ 7,003.53	▲ 516.3%

## 経常収支(2023年1-11月)

(1) 2023年1-11月の経常収支は、436.05億ドルの赤字(前年同期は430.70億ドルの赤字)。  
 (2) 2023年1-11月の貿易収支(物品)は818.08億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は391.05億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

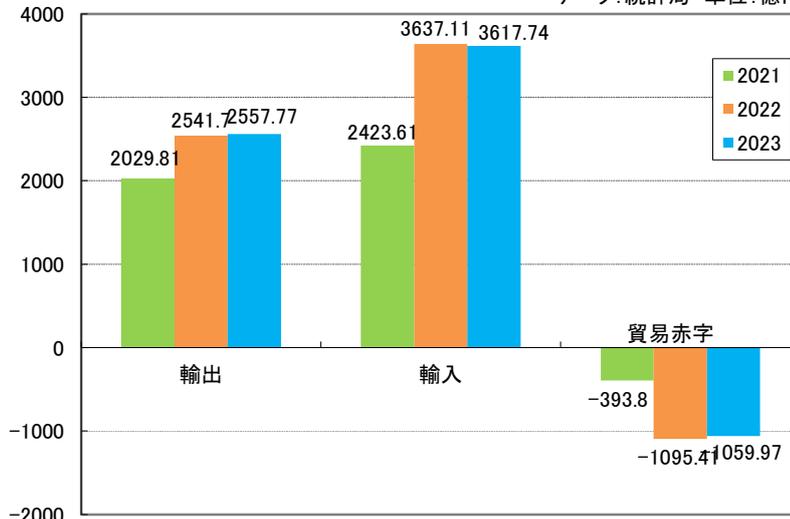
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-11月(A)	2023年1-11月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 430.70	▲ 436.05	▲ 1.2%
貿易収支(物品)	▲ 815.22	▲ 818.08	▲ 0.4%
サービス収支	472.56	488.57	3.4%
旅行収支	358.23	391.05	9.2%
第1次所得収支	▲ 82.22	▲ 109.80	▲ 33.5%
第2次所得収支	▲ 5.82	3.26	156.0%
労働者送金	1.81	1.91	5.5%
資本移転等収支	▲ 0.28	▲ 1.97	▲ 603.6%
金融収支	▲ 183.90	▲ 538.48	▲ 192.8%
直接投資	▲ 81.94	▲ 39.88	51.3%
証券投資	143.56	▲ 66.19	▲ 146.1%
その他投資	▲ 344.29	▲ 392.36	▲ 14.0%
外貨準備	98.77	▲ 40.05	▲ 140.5%
誤差脱漏	247.08	▲ 100.46	▲ 140.7%

## 貿易収支(1-12月)

(1) 1-12月の輸出額は2,557.77億ドル(前年同期比0.63%増)、輸入額は3,617.74億ドル(同0.53%減)となり、この結果、貿易収支は1,059.97億ドルの赤字(同3.2%赤字幅拡大)となった。  
 (2) 1-12月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は40.8%(前年同期は40.5%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は29.3%(前年同期は25.6%)となっている。

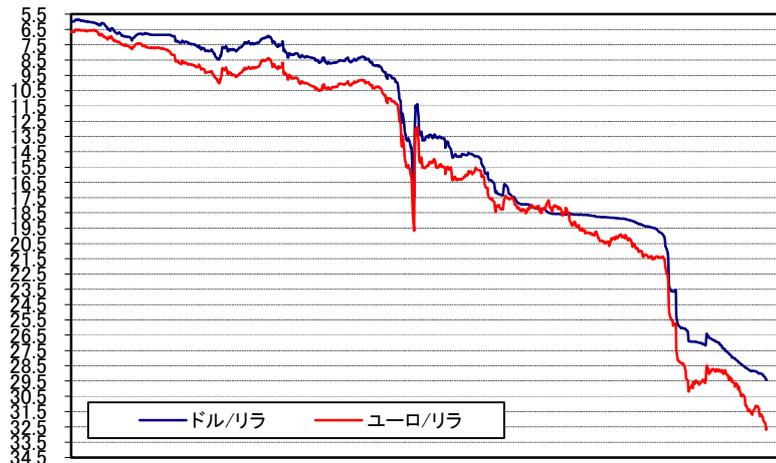
データ:統計局 単位:億ドル



## 為替(1月)

1月25日、トルコ中央銀行は政策金利を引き上げたが、引き続きリラ安傾向。月末は1ドル=30.29リラ(前月末比2.9%安)、1ユーロ=32.78リラ(同0.6%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



## 消費者物価上昇率(12月)

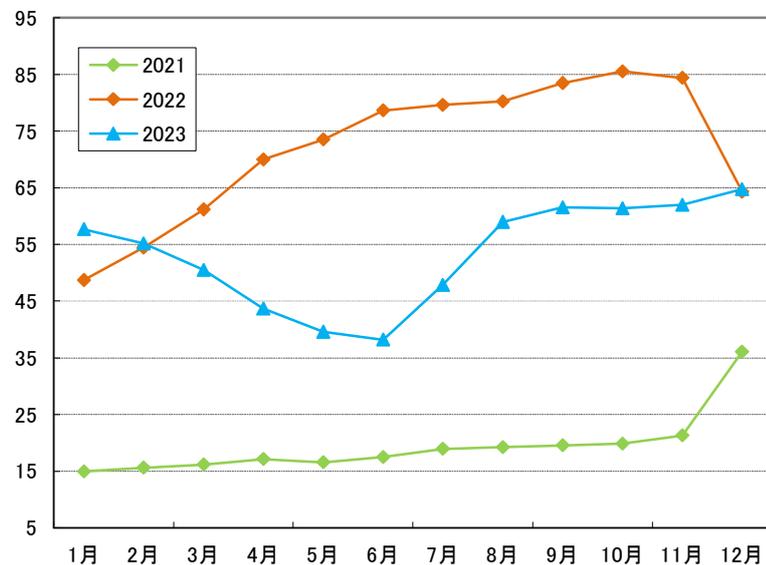
(1)12月の消費者物価は前年同月比64.77%増、前月比2.93%増。

(2)項目別にみると、前年同月比93.24%でホテル及び飲食店が、前月比5.3%で娯楽、文化が最も上昇した。

(3)2023年末のインフレ率の中銀目標(11/2時点)は前年同月比65%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比44.22%増、前月比1.14%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



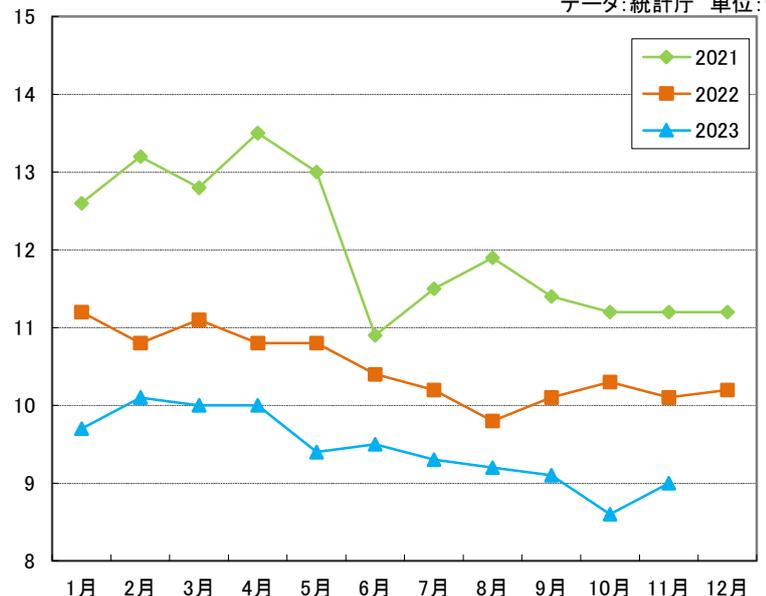
## 失業率(11月)

(1)11月の失業率(季節調整後)は9.0%となり、前月から0.4ポイント上昇。

(2)労働力人口は3,472.6万人、就労者数は3,161.1万人、失業者数は311.6万人。

(3)男性の失業率は7.5%、女性は11.8%。若年層(15-24歳)の失業率は16.5%となっている。

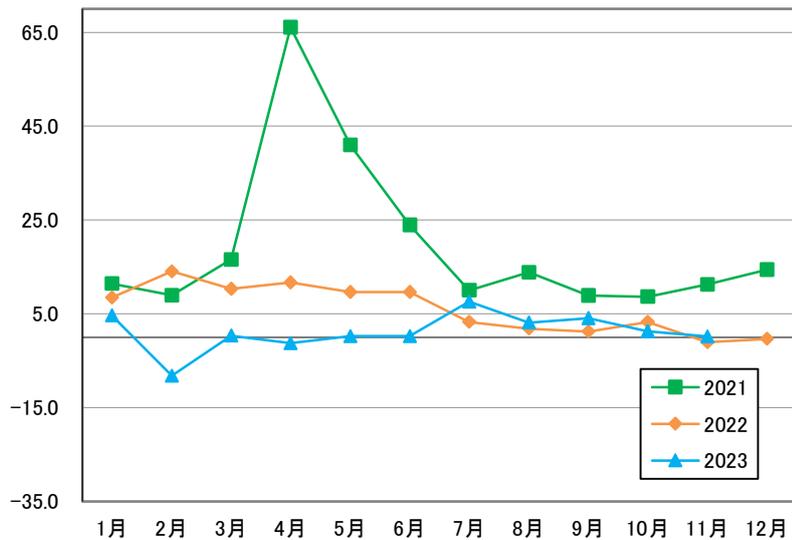
データ:統計庁 単位:%



## 鉱工業生産(11月)

(1)11月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.2%増。  
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.1%減、資本財が同6.2%増、中間財が同1.2%増となった。

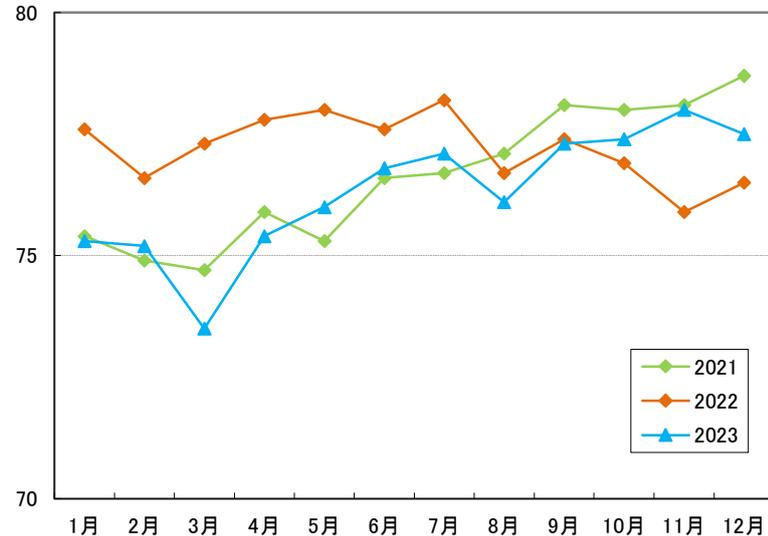
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



## 設備稼働率(1月)

(1)1月の設備稼働率は76.2%となり、前年同月から0.9ポイント上昇し、前月から1.3ポイント減少。  
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業(84.4%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(62.2%)が最も低い稼働率であった。

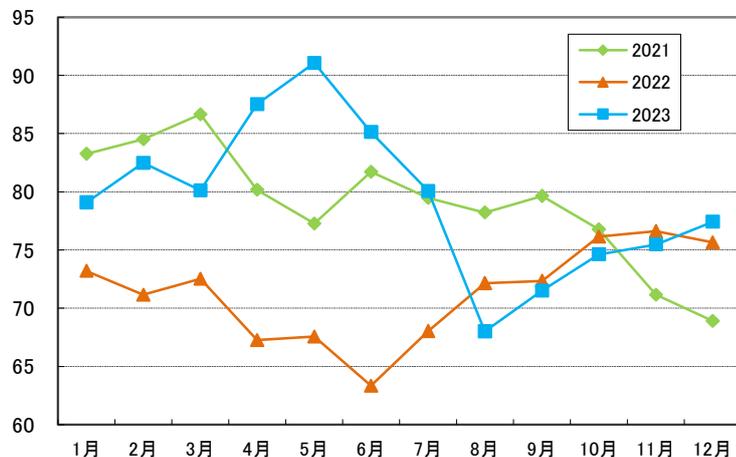
データ:中央銀行 単位:%



## 消費者信頼感指数(1月)

(1)1月の消費者信頼感指数(季節調整値)は80.4ポイントで、前月から3.0ポイント上昇。  
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。

データ:統計庁 単位:ポイント



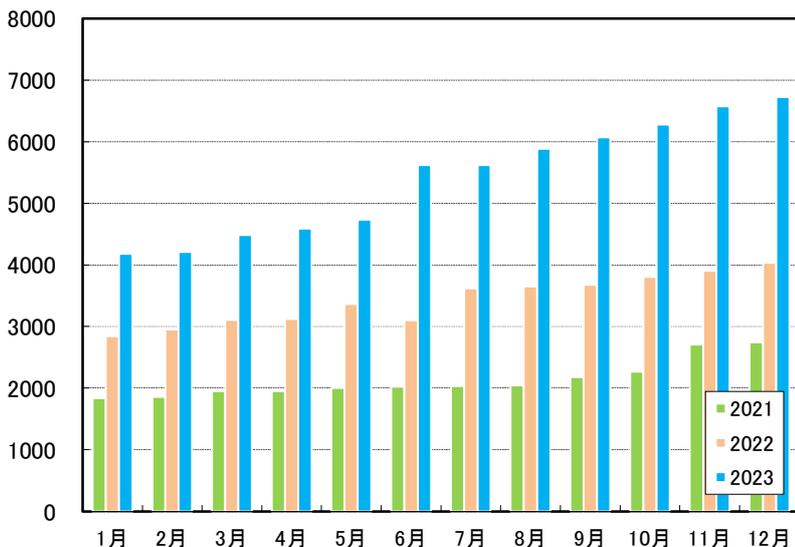
## 中央政府債務残高(12月)

(1)12月末時点での中央政府債務残高は6兆7,225億リラとなり、前年同月比66.7%増、前月比2.3%増となった。

(2)また、国内債務比率は47.7%、自国通貨債務比率は35.8%(2022年末は34.5%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

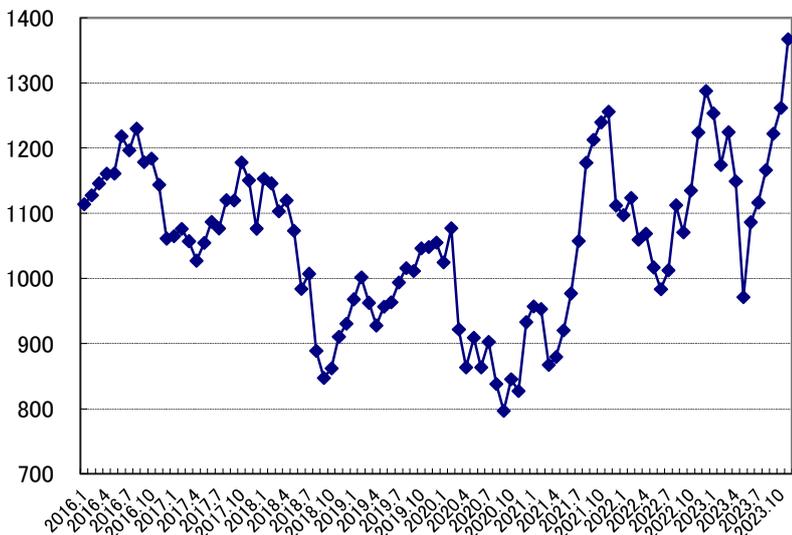


## 外貨準備高(12月)

(1)12月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,408.84億ドルとなった。

(2)前月から42.04億ドル上昇した。

データ:中銀 単位:億ドル

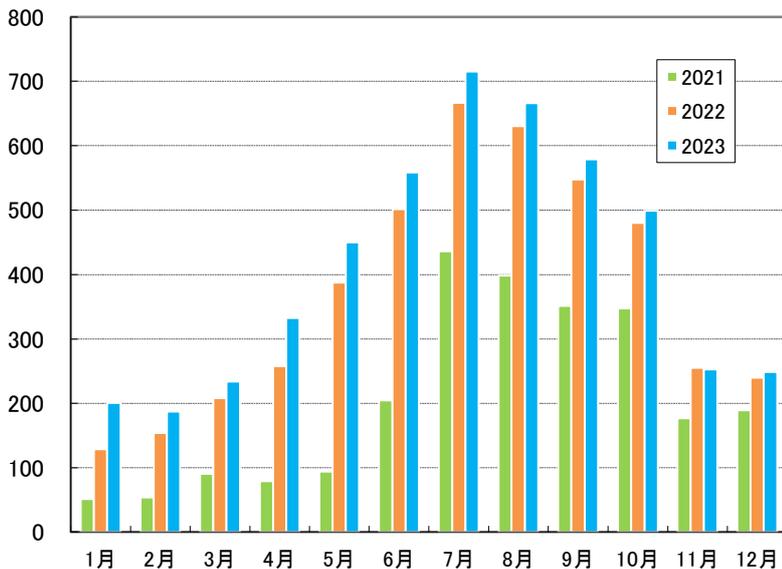


## 外国人訪問者数(12月)

(1)12月の外国人訪問者数は2,483,756人で、前年同月比3.51%増。日本は7,671人であった(前年同月は3,668人)。

(2)国別ではブルガリアが最も多く、251,895人で全体の10.14%を占め、以下、ドイツ(233,416人)、ロシア(229,979人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

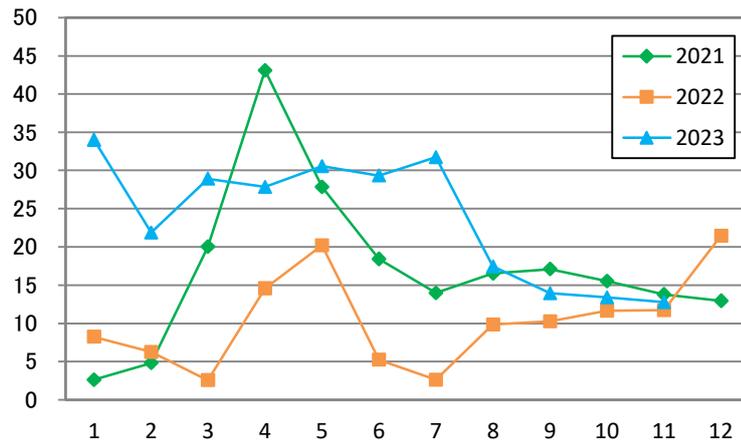


## 小売売上高(11月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)11月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)12.8%増、前月比(季節及び日数調整後)0.2%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比11.7%増、繊維・衣料が同4.4%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同31.2%増となった。

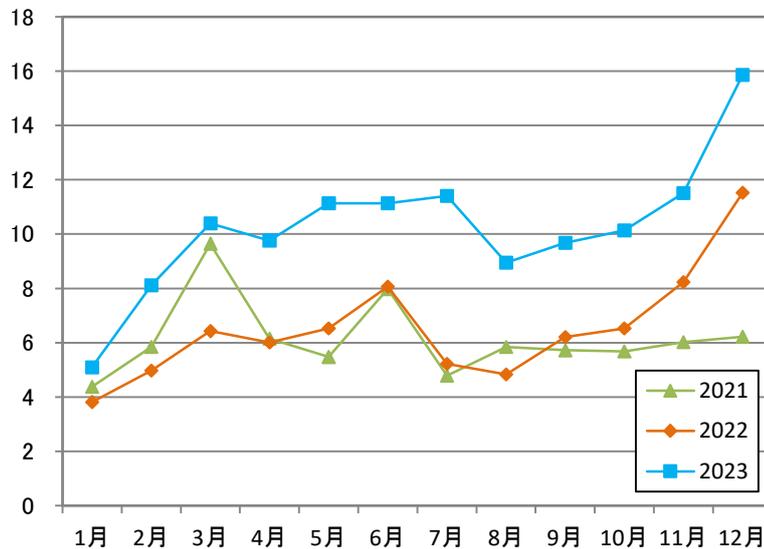


## 新車販売台数(12月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)12月の新車販売台数は158,653台で前年同月比37.7%増。

(2)12月の内訳は乗用車が126,416台(前年同月比45.7%増)、小型商用車が32,237台(同13.3%増)となった。



## 住宅販売戸数(12月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)12月の住宅販売戸数は138,577戸で前年同月比33.36%減となった。

(2)12月は新築が77,889戸(前年同月比34.2%減)、中古が130,074戸(同32.9%減)。

(3)12月の住宅ローンでの購入は21,796戸(前年同月比72.3%減)、その他が186,167戸(同28.8%減)。

